

平成22年度 教育・学生支援センター自己評価報告書

自己評価の内容	
I 教育活動	<p>1. 教育の質の向上や高い質の維持に関する取組の状況 センター専任教員として専門性を生かし、共通教育部、教育文化学部における授業科目を担当し部局の教育プログラムに貢献している。</p> <p>(1) 学士課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通教育における、文化・社会系、キャリア教育・生涯学習系、外国語系分野の授業科目を担当し共通教育の充実を図った。 ・教育文化学部における教科専門科目を担当し教員養成プログラムに貢献した。 ・本学の大型教育研究プログラム「国際的に活躍できる専門職業人育成を目指した学士課程一貫の英語学習プログラム」における1年次共通教育英語科目において、eラーニングを導入し、英語基礎運用能力の育成を図った。 ・上記英語学習プログラムにおいて、単位の実質化を実現する授業運営を行い、厳格な成績評価を実施した。 <p>(2) 入学者確保のための取組 【入試方法等の改善、オープンキャンパス、出前講義等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターとしては社会貢献事業として実施している。別項参照。 <p>2. 学生支援の充実に関する取組 【履修指導・学習支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語学習プログラムの関連事業として、英語学習アドバイザー制度を導入し、英語学習に関する学習相談、カウンセリング、特別講座を開催した。 ・とっても元気！宮大チャレンジ・プログラムの事業運営を学生委員会、キャリア支援専門委員会と連携し、21企画の運営を支援した。 ・学生1,800名を対象に、「第17回(2010年度)学生生活実態調査」を実施し、学生の学習・生活環境や意識について調査した。調査結果は、23年度以降の大学の諸施策の基礎資料として活用する。 ・学生の外部（宮崎県）資金獲得・実施を支援し、その成果を社会人基礎力九州・沖縄大会（経産省）で発表し、準優秀賞を獲得した。 <p>【学生相談・就職支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア支援課（10月1日設置）と連携し、就職ガイダンスや就職相談を実施した。また、学生の個別相談の機能強化に向け、ヤングJOBサポート宮崎（宮崎県）ハローワークプラザ宮崎と連携し、量的・質的に充実させた。 ・学生の学修・生活相談の組織体制の整備及び、学生なんでも相談室の周知を図った。特に相談室の周知では、主に新生向けのリフレットを新規作成し、学生一人ひとりが充実した学生生活が過ごせるようにした。
II 研究活動	<p>1. 研究活動の推進に関する取組 【学部長裁量経費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター運営費の配分においてセンター事業経費を計上し、事業目的・計画及び予想される効果に基づくセンターの研究・調査活動の活性化を図っている。 <p>【科研費等の外部資金の受入状況や取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度特別教育研究経費「国際的に活躍できる専門職業人育成を目指した学士課程一貫の英語学習プログラム」が採択された。 <p>2. 特筆すべき研究成果、学会賞等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記英語学習プログラムにおいて、eラーニングを積極的に活用した学習プログラムを開発し、単位の実質化を実現した。 ・本学において平成22年度からの導入が決定されたGPA制度について、調査研究を継続的に実施し制度導入に貢献した。

<p style="text-align: center;">Ⅲ 社会貢献</p>	<p>1. 教育・研究成果等の社会への還元</p> <p>(1) 公開講座、シンポジウム等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募による卒業研究事業を企画し、成果発表会を開催した。なお、当事業は高等教育コンソーシアム宮崎の事業として発展することになった。 ・高等教育コンソーシアム宮崎の諸事業に参加し、単位互換事業、合同進学説明会、インターンシップ事業、就職支援事業、FD事業を推進した。 <p>(2) メディアへの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内高等教育機関、宮崎放送、テレビ宮崎と連携し、学生の課外活動を県民に広報し、学生の活動拠点の拡大に向けて支援を行った。その結果、学生の課外活動に対するモチベーションアップにもつながった。
<p style="text-align: center;">Ⅴ 組織・運営</p>	<p>1. 管理運営での取組</p> <p>【学部長・研究科長の補佐体制、教育研究組織、各種委員会の取組状況や見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年10月に（旧）教育研究・地域連携センターを、（新）教育・学生支援センターに改組し、全学的な教育企画と学生支援の体制を整備した。 ・全学委員会の下部組織として、専門委員会（FD専門委員会、キャリア支援専門委員会）を設置した。各委員会の委員長をセンター部門長が担当することで、学内施策の企画組織としての機能を強化した。 ・安全衛生保健センターと連携し、学生なんでも相談室との情報交換や支援体制を整備した。 <p>【学部・学科事務、技術職員の能力開発（職員研修）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語学習プログラムを推進するため、技術職員を配置し、システム管理、学習履歴の収集・解析及び授業を効率的に運営するためのツール開発を行うなど能力開発に努めた。
<p style="text-align: center;">Ⅵ 施設・設備</p>	<p>1. 施設設備の整備・活用等に関する取組</p> <p>【講義室、研究室等の整備・活用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（旧）教育研究・地域連携センターを、（新）教育・学生支援センターに改組し、大学会館に移動した。
<p style="text-align: center;">Ⅶ 課題・改善点等</p>	<p>1. 前年度の課題に対する改善点や今後の課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学教育と学生支援という2つのミッションを効率的に企画・運営する方策を検討する。 ・留学生、障がいを持った学生の受入及び学生支援体制の充実に向けて、各部局等の取り組みや整備状況を確認し、センター学生支援部門を中心に検討する。